



IT Automation Conductor 【座学編】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro IT Automation Version 1.7.1
Exastro developer

目次

1. はじめに

1. 本書について

2. Conductorについての説明

1. Conductorとは

2. Conductorの特徴

3. Conductorメニューの機能説明

4. Conductorの作業フロー

1. はじめに

1.1 本書について

メインメニュー

- 本書では、メニューグループの「**Conductor**」について、ご説明をしております。

Exastro IT Automation 基本コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト

Menu DASHBOARD 編集

メインメニュー

機器一覧
オペレーション一覧
Movement一覧
ER図表示

メニューグループ

管理コンソール 基本コンソール エクスポート/... Symphony Conductor メニュー作成

比較 ホストグルー... Ansible共通 Ansible-Legacy Ansible-Pioneer Ansible-Legac...

Terraform

Movement

作業状況

作業結果

管理者に連絡

Movement	SUM
Ansible Legacy	0
Ansible Pioneer	0
Ansible Legacy Role	0
Terraform	0

Status	CON	SYM	SUM
実行中	0	0	0
未実行(予約)	0	0	0
未実行	0	0	0

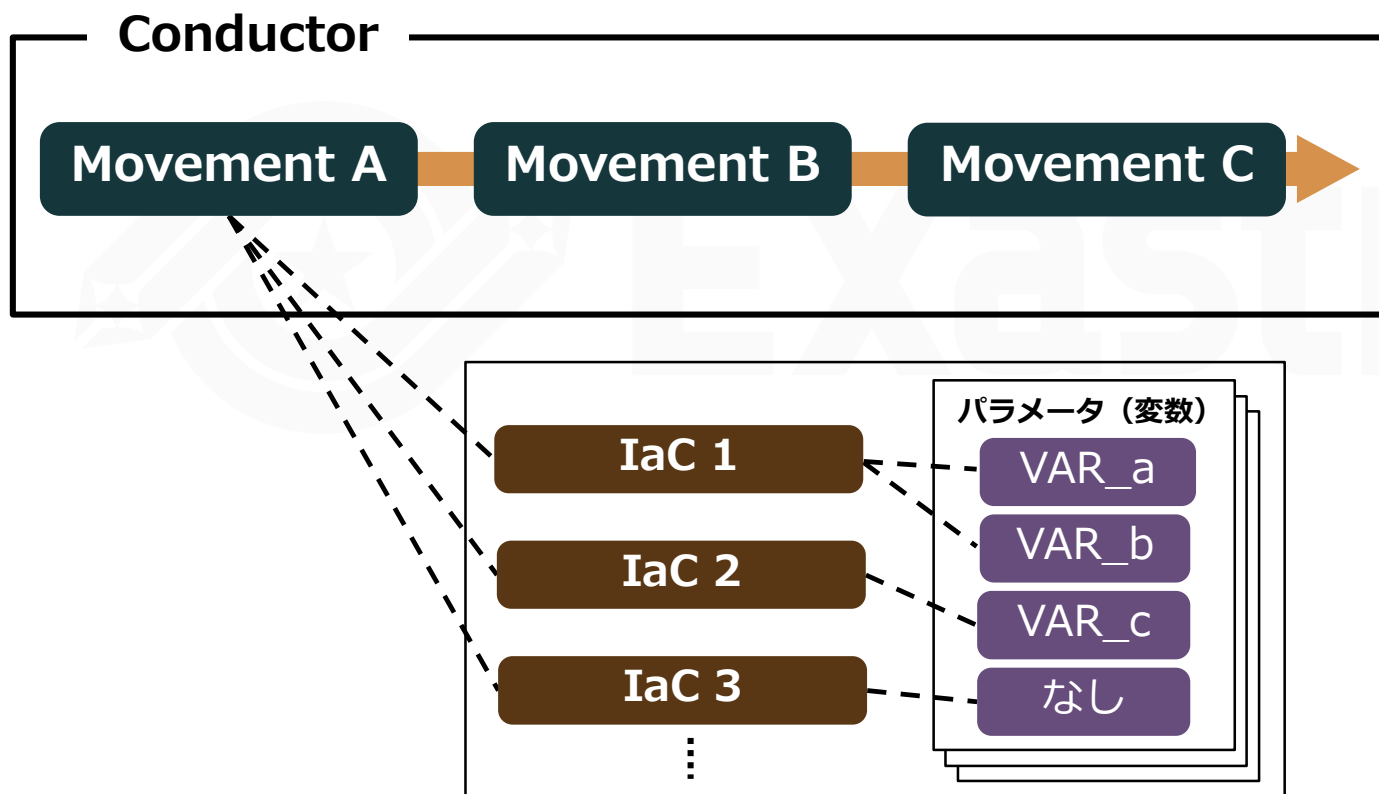
Result	CON	SYM	SUM
正常終了	0	0	0
異常終了	0	0	0
想定外エラー	0	0	0
緊急停止	0	0	0
予約取消	0	0	0

作業履歴

2. Conductorについての説明

2.1 Conductorとは

- Conductorは、ITAにver1.5.0より追加された機能です。
- ITA における一連の作業の単位を指し、オペレーション名と関連付けて実行します。（ジョブフロー）

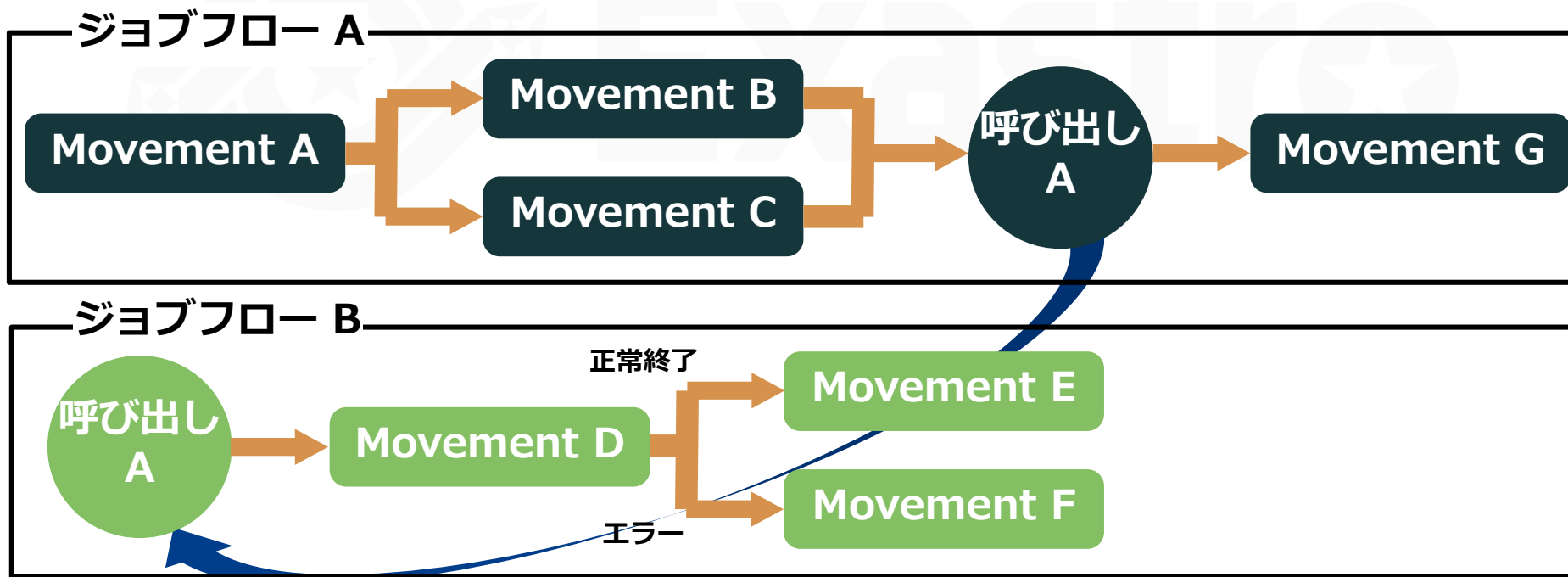


2.2 Conductorの特徴

- ConductorではSymphony機能と同様の作業実行機能に加え、以下の機能を備えています。

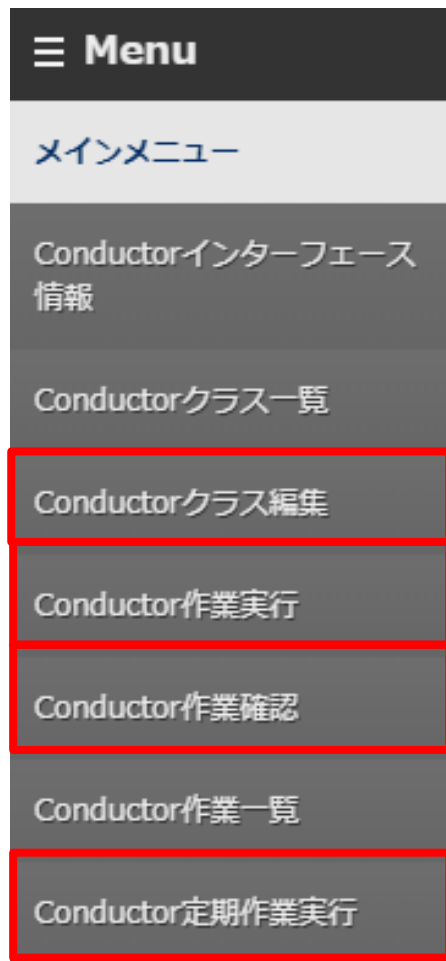
これらによって、Conductorでは**より高度なジョブフローを実行できます。**

- Movement の並列実行**
- 別のジョブフローの呼び出し**
- Movement の実行結果による条件分岐**



2.3 Conductorメニューの機能説明 (1/11)

- Conductorにおける主なメニュー機能を紹介します。



①Conductorクラス編集

作成したMovementを使用してオペレーションを作成します。

②Conductor作業実行

オペレーションを実行します。

③Conductor作業確認

作成したオペレーションの確認できます。

④Conductor定期作業実行

オペレーションを登録し、定期実行をおこないます。

①

②

③

④

2.3 Conductorメニューの機能説明 (2/11)

●Conductorクラス編集 (1/4)

- 「Conductorクラス編集」メニューではMovement、各種制御を行うFunctionの追加、削除が可能です。

The screenshot displays the 'Conductor Class Editor' interface. At the top, there are buttons for 'EDIT', '新規' (New), '保存' (Save), '読み込み' (Load), '取り消し' (Cancel), 'やり直し' (Redo), and 'ノード削除' (Delete Node). On the right, there are buttons for '全体表示' (Full View), '表示リセット' (Reset View), and 'フルスクリーン' (Full Screen). The main workspace shows a workflow diagram with three nodes: 'Start' (blue circle with 'S'), 'Movement_1' (red circle with '1'), and 'End' (blue circle with 'E'). The 'Movement_1' node is labeled 'Ansible Legacy' and 'Movement_1'. Red arrows indicate the flow from 'Start' to 'Movement_1' and from 'Movement_1' to 'End'. A red box highlights the 'Function' button in the 'Movement' panel on the right. Below it, a table lists movements:

+	ID	Movement Name
<input checked="" type="radio"/>	1	Movement_1
<input type="radio"/>	2	Movement_2
<input type="radio"/>	3	Movement_3
<input type="radio"/>	4	Movement_4
<input type="radio"/>	5	Movement_5

Four callout boxes provide additional information:

- Movementごとのin/outをドラッグ&ドロップでMovementの結合が可能です** (Movement-specific in/out can be combined by drag&drop)
- 各種Functionが選択可能です** (Various Functions can be selected)
- ドラッグ&ドロップすることでMovement配置ができます** (Movement can be configured by drag&drop)

●Conductorクラス編集 (2/4)

- 画面右中央付近のタブから、オペレーションの条件分岐を制御する **Function** を選択、使用することが可能です。

The screenshot displays the Conductor menu interface. On the left, a workflow diagram is shown on a grid background. It starts with a 'Start' node (blue circle with 'S'), followed by a 'Conductor' node (blue rectangle with 'OUT' and a plus sign). This connects to two parallel 'Movement' nodes (red circles with '1' and '2'), each labeled 'Ansible Legacy' and 'Movement_1'/'Movement_2'. A red arrow points from the 'Function' tab in the right panel to the connection point between the 'Conductor' and the first 'Movement' node.

On the right, a panel shows the 'Function' tab selected. It lists various function types for selection:

- Conductor end
- Conductor pause
- Conductor call
- Symphony call
- Conditional branch
- Parallel branch

Callouts provide additional information:

- Movementと同様にのin/outをドラッグ&ドロップで結合が可能です** (It is possible to combine in/out similarly to Movement using drag&drop.)
- ドラッグ&ドロップすることでFunctionを配置ができます** (You can place the Function by drag&drop.)
- 各種Functionが選択可能です** (Various Functions can be selected.)

●Conductorクラス編集 (3/4)

- Nodeを複数選択することで、オブジェクトの整列機能を使用することが可能です。Nodeを複数選択する方法については、ドラッグアンドドロップでの範囲選択の他「shift」キーを押下しながらの選択が可能です。以下のようにNodeタブの使用により、オブジェクトを整列することが可能です。Nodeタブの詳細は[マニュアル](#)をご覧ください。

The image shows a two-part screenshot of a software interface. The top part shows a workflow with three nodes: 'Start' (blue circle with 'S'), 'Movement_1' (red circle with '8'), and 'End' (blue circle with 'E'). A blue callout box points to the nodes with the text: 'Nodeを複数選択することによってオブジェクトの整列機能が表示されます'. A red arrow points from this box to a 'Node' panel on the right. This panel has a '整列' (Align) section with buttons for left, right, top, bottom, and center alignment. A red box highlights the center alignment button. Below this, a blue callout box says: 'タブを選択することでオブジェクトの整列ができます'. A large red arrow points down to the bottom screenshot. The bottom screenshot shows the same workflow, but the nodes are now perfectly aligned horizontally. The 'Node' panel is still visible on the right.

Nodeを複数選択することによって
オブジェクトの整列機能が表示されます



タブを選択することで
オブジェクトの整列ができます

2.3 Conductorメニューの機能説明 (5/11)

●Conductorクラス編集 (4/4)

- 使用可能なFunctionを記載します。詳細は[マニュアル](#)をご覧ください。

画像	名称	動作説明
	Conductor start	Conductorを開始します
	Conductor end	Conductor 終了します。 ※複数の Conductor end がある場合、全ての Conductor end が終了を待ちます。
	Conductor pause	ジョブフローを一時停止します。 一時停止を解除すると、次の処理へ進みます。
	Conductor call	別の登録済みの Conductor クラスを呼び出し実行します。
	Symphony call	登録済みの Symphony クラスを呼び出し実行します。
	Conditional branch	接続された、「Movement」、「Conductor call」、「Symphony call」の結果によって、後続の処理を分岐させます。 指定可能なステータスは、以下になります。 <ul style="list-style-type: none">・正常終了・異常終了・緊急停止・準備エラー・想定外エラー・SKIP 完了
	Parallel branch	並列して、「Movement」、「Conductor call」、「Symphony call」を実行します。 ※並列可能な実行数は、ITA の構成やサーバースペックに依存します。

画像	名称	動作説明
	Parallel merge	接続している全 Node の処理が完了後、次の処理を実行します。
	Movement 各種	Movement を実行します。

2.3 Conductorメニューの機能説明 (6/11)

●Conductor作業実行(1/2)

- 「Conductor作業実行」メニューでは作成したConductor、オペレーションを選択し実行します。

説明 ▽開く

スケジューリング

予約日時を指定する場合は、日時フォーマット(YYYY/MM/DD HH:II)で入力して下さい。ブランクの場合は即時実行となります

予約日時

Conductor[フィルタ] ▽開く

Conductor[一覧] △閉じる

選択	ConductorクラスID	Conductor名称	説明	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
				アクセス許可ロール			
<input type="radio"/>	1	Conductor_01				2021/04/30 21:05:54	システム管理者
<input type="radio"/>	2	Conductor_02				2021/04/30 21:06:32	システム管理者

フィルタ結果件数: 2

オペレーション[フィルタ] ▽開く

オペレーション[一覧] △閉じる

選択	No.	オペレーションID	オペレーション名	実施予定日時	最終実行日時	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
						アクセス許可ロール			
<input type="radio"/>	1	1	operation_A	2021/04/30 21:00				2021/04/30 21:08:49	システム管理者
<input type="radio"/>	2	2	operation_B	2024/04/30 21:10				2021/04/30 21:09:12	システム管理者

フィルタ結果件数: 2

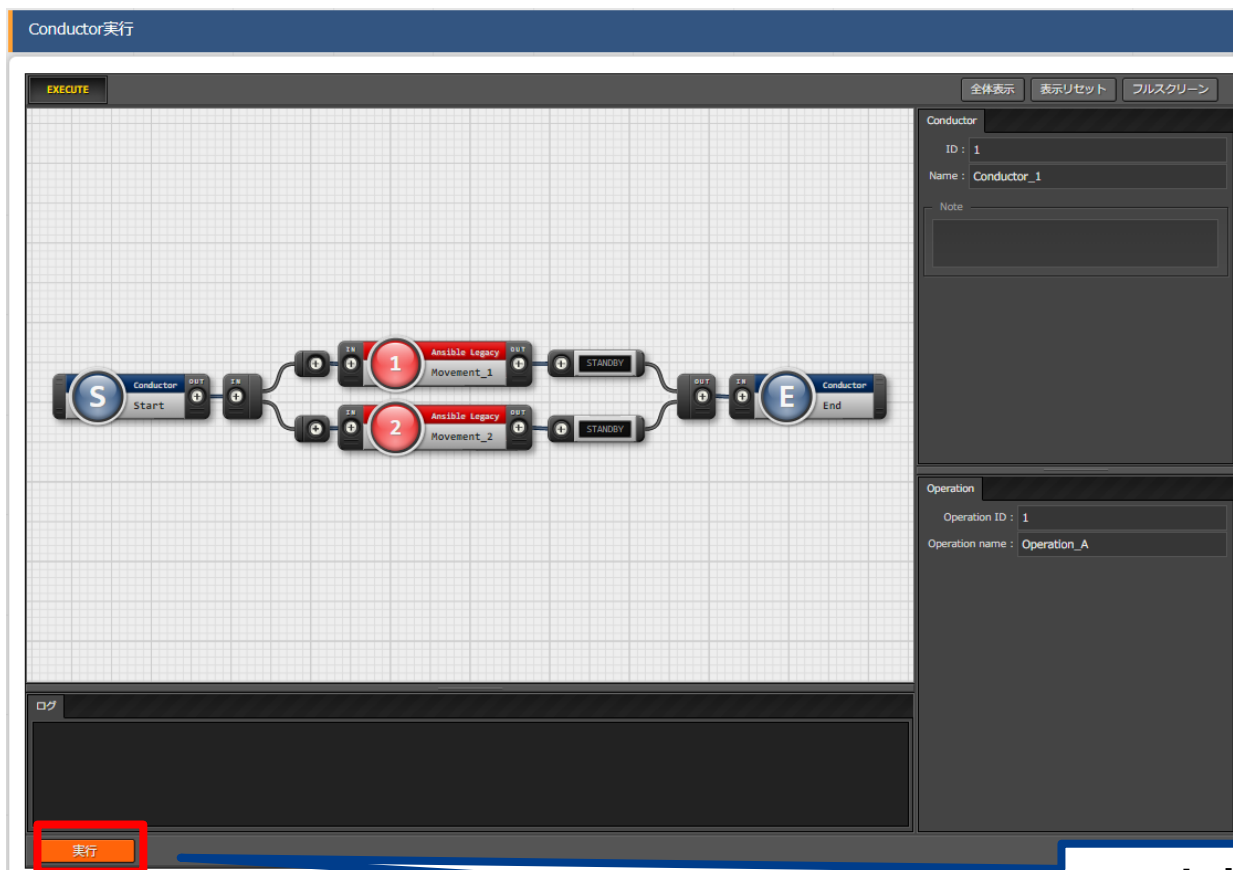
実行タイミングの
スケジューリングが可能です

実行するしたConductor、
オペレーションを選択できます

2.3 Conductorメニューの機能説明 (7/11)

●Conductor作業実行(2/2)

- ページ上部で選択したConductor、オペレーションが表示されます。



内容に問題がなければ、
「実行」ボタンから実行できます

2.3 Conductorメニューの機能説明 (8/11)

●Conductor作業確認 (1)

- 「Conductor作業確認」メニューから、Conductorの実行状態が確認可能です。

**Movementをクリックすると、実行の詳細結果を確認可能です
詳細は[こちら](#)**

緊急停止

Conductorに予約日時が設定されていてかつ未実行の場合、「予約取り消し」ボタンから予約を取り消すことが可能です

Node

Node type :	movement
Node instance ID :	9
Node name :	node-3
Status :	正常終了
Start time :	2021/05/07 13:43:59
End time :	2021/05/07 13:44:31
Operation status :	作業状態確認
Specified individually operation	
Operation ID :	
Operation name :	
Note	

Operation

Operation ID :	3
----------------	---

2.3 Conductorメニューの機能説明 (9/11)

●Conductor作業確認 (1)

- 「Conductor」メニューグループ >> 「Conductor作業一覧」メニュー>> 「一覧」サブメニューにて、各Conductorの投入データと結果データを取得することができます。

Exastro IT Automation Conductor

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト

Menu

- メインメニュー
- Conductorインターフェース情報
- Conductorクラス一覧
- Conductorクラス編集
- Conductor作業実行
- Conductor作業確認
- Conductor作業一覧**
- Conductor定期作業実行

説明 [▽開く](#)

表示フィルタ [△閉じる](#)

廃止	ConductorインスタンスID	Conductor名称	オペレーション名	ステータス	実行ユーザ	緊急停止発令	最終更新日時	最終更新者
廃止含まず ▼	~	▼ プルダウン検索	▼ プルダウン検索	▼ プルダウン検索	▼ プルダウン検索	▼ プルダウン検索	~	▼ プルダウン検索

フィルタ フィルタクリア

☒ オートフィルタ

一覧 [△閉じる](#)

履歴	ConductorインスタンスID	オペレーション名	ステータス	実行ユーザ	緊急停止発令フラグ	投入データ式 (zip)	結果データ式 (zip)	実行日	最終更新日時	最終更新者
履歴	3	Operation01	正常終了	システム管理者	未発令	download(.zip)	download(.zip)		2021/05/07 13:44:35	コンダクター管理プロシージャ
履歴	2	Operation01	正常終了	システム管理者	未発令	download(.zip)	download(.zip)		2021/05/07 13:34:55	コンダクター管理プロシージャ
履歴	1	Operation01	正常終了	システム管理者	未発令	download(.zip)	download(.zip)		2021/05/07 13:25:51	コンダクター管理プロシージャ

フィルタ結果件数: 3

Excel出力

2.3 Conductorメニューの機能説明 (10/11)

●Conductor定期作業実行 (1/2)

- 「Conductor定期作業実行」メニューでは、スケジュールに従って定期的に行う作業を管理します。

表示フィルタ

△閉じる

廃止	定期作業実行ID	Conductor名称	オペレーション名	ステータス	実行ユーザ		最終更新日時	最終更新者
廃止含まず ▼	~						~	
	▼ プルダウン検索	▼ プルダウン検索	▼ プルダウン検索	▼ プルダウン検索	▼ プルダウン検索			▼ プルダウン検索

フィルタ

フィルタクリア

☒ オートフィルタ

一覧/更新

レコードはありません。
新規登録は下記より可能です。

登録

△閉じる

定期作業実行ID	Conductor名称 *	オペレーション名 *	ステータス	実行ユーザ	スケジュール設定	次回実行日付	開始日付 *	終了日付	曜日	最終更新日時	最終更新者
自動入力	Conductor_001 ▼	Operation01 ▼	自動入力	自動入力	スケジュール設定	自動入力	2021/05/10 17:00	2021/06/09 17:00	時	自動入力	自動入力

※*は必須項目です。

戻る

登録

「スケジュール設定」から詳細なスケジュールが設定できます

2.3 Conductorメニューの機能説明 (11/11)

●Conductor定期作業実行 (2/2)

- 「スケジュール設定」は以下のように実行期間や、作業を停止する期間などの設定を細かく行うことが可能です。

スケジュールを設定する

作業期間

* 開始日付: 2021/05/10 17:00 終了日付: 2021/06/09 17:00

スケジュール

☒ 時 ☐ 日 ☐ 週 ☐ 月(日付指定) ☐ 月(曜日指定) ☐ 月末

* 間隔: 5 時間ごと

作業停止期間

2021/05/17 17:00 ~ 2021/05/24 17:00

備考

* は必須項目です

決定 閉じる

クリックするとカレンダーが表示されます

May - 2021

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

17:00
18:00
19:00
20:00
21:00
22:00

2.4 Conductorの作業フロー

- Conductorの作業フローは以下の通りです。
実際の操作は実習編にて記載しています。

①機器情報の登録

基本コンソールメニュー

②オペレーションの登録

③Movementの登録

各種Driverメニュー

④Movementの確認

⑤インターフェース情報を登録

Conductorメニュー

⑥Conductorの登録

⑦Conductorの確認

⑧Conductorの実行

⑨実行結果確認

⑩実行履歴の確認



Exastro